

# 平成29年度 事業報告

## 概 況

平成29年度の社会情勢は、米国トランプ大統領によるアメリカ第一主義に基づいた政策に、世界が大きく変革を求められ各国と摩擦を起こしており、今迄の常識では測れない力による混乱した社会が当分続きそうです。

このような中、天皇陛下の生前退位を実現する特例法が6月に成立し、また、中学生プロ棋士の活躍や、冬季オリンピックにおいて過去最多の13のメダルを獲得、日本人選手の活躍に熱狂したところです。

国内経済においては、雇用環境が改善しサービス業を中心に深刻な人手不足となっています。

また、我が国では少子高齢化に歯止めをかけ、誰もが活躍できる「一億総活躍社会」の実現に向け、政府主導の賃金引上げに伴う国内消費の拡大によるデフレ脱却への歩みを、確実なものとなるよう各種政策に取り組んでいます。

このような状況の中、当センターにおいては、平成28年度から新たな5年間とした、第3次中期基本計画の2年目となる本年度も、第3次中期基本計画推進委員会において、この評価・検証を実施しました。

当センターでは法令等を遵守し、市当局をはじめ関係機関、事業所及び市民の皆様のご理解とご協力を得ながら、事業運営をおこなってまいりました。本年から市のご理解を得て、長年懸案であった、国の事業仕分けによって本市においても、当センターに対する運営補助金が削減されていましたが、復活を認められ財政基盤が安定に向かいました。

なお、センター事業の基盤となります会員の増強につきましては、定年制の延長や、再雇用、高年齢者の就業に対する変化等厳しい状況の中、周南市の広報へ会員募集広告の掲載、ゆめタウン徳山のご配慮により店内における入会案内、徳山ハローワークと連携した入会案内、センター手芸部による介護予防のための「いきいき百歳体操」、市民を対象とした「女性の集い・いきいきレディースサロン」等による普及活動を行い、会員拡大に努めてきました。

また、受託事業の契約額においては前年度より減少となりましたが、労働者派遣事業においては、適正就業ガイドラインに基づき請負から派遣へ適正な就業に努めた結果、契約額が増加となりました。

以下、平成29年度の主な事業の実施状況についてご報告申し上げます。

## 事業実施状況

### 1. 会員数及び事業実績

平成 30 年 3 月末の会員数は 1,106 人で、会員構成は男性 660 人、女性 446 人となって前年度比 50 人の減少となりました。

契約金額について、請負・委託の受託契約金額は 480,099 千円で、前年度比 20,560 千円の減額で 4.1%の減、配分金支払額は 392,512 千円で、前年度比 18,383 千円の減額で 4.5%の減、就業延人員は 95,976 人で、前年度比 3,579 人の減少となり、就業実人員は 869 人で、就業率は 78.6%で 1.8%の減、受注件数は 6,437 件で、前年度比 64 件の減少となり、1.0%の減となりました。

次に、派遣事業の契約金額は 68,192 千円で、前年度比 3,954 千円の増額で 6.2%の増加となり、就業延人員も 12,562 人で、前年度比 864 人 7.4%と、いずれも増加となりました。

したがって、請負・委託、派遣事業を併せた契約金額は 548,291 千円となり、前年度比 16,606 千円の減で、前年度比 2.9%の減となりました。

### 2. 普及啓発活動と就業機会の開拓

シルバー事業活動を広く地域社会に周知するため、会報「いきがい」を年 3 回発行から、新たに 30 年 4 月号を事務局通信として加え、年 4 回発行を決定し、編集作業に取り組みました。なお、ホームページを見直し、お仕事情報を追加することにより充実した情報の提供に努めました。また、手芸部等を中心に各種イベント等への参加による P R 活動、各種行事開催時の報道機関への情報提供及び作業時やボランティア活動時に幟旗の掲揚を行い、普及啓発活動に努めました。

新たに、ゆめタウン徳山での入会案内活動や広報“しゅうなん”への掲載、職業安定所と連携した入会案内、手芸部による「いきいき百歳体操」や、会員入会募集・派遣事業のリーフレットを活用し、事業所等へシルバー事業の周知と就業機会の拡大を図りました。

### 3. 会員の資質の向上（研修会・講習会の開催）

会員・市民を対象とした「剪定技能講習・刈払機講習・女性の集い・いきい

きレディースサロン」を各地で開催しました。

その他にも、平成29年4月から周南市でスタートした「介護予防・日常生活支援総合事業」への会員や一般市民を対象とした研修会を行政の協力を得て実施しました。

また、県連合会と連携協力し派遣会員を対象としたスキルアップセミナーを開催しました。

#### 4. 組織機能の整備充実

役職員の意識、資質の向上と効率的な運営を図るため、全シ協、中国ブロック連合会、県連合会が開催した各種研修会に参加し、意識改革に努めました。

また、センター事業の基盤となる地域班組織の機能強化として地域班長・役員合同会議、各地区での懇談会及び剪定・草刈等職群班の組織活性化対策として本部・支部・出張所合同の各職群班会議を開催し、組織機能の整備充実に努めました。

#### 5. 安全就業への取り組み

シルバー人材センター事業にとって、安全就業対策は最優先課題であり、平成29年度は県連合会と合同の安全委員会による就業現場の安全パトロールや、発生した事故に対する事故調査を実施し、事故の再発防止に努め、安全就業の周知徹底を図りました。

また、当センターでは全ての会員・役員・職員が、日常生活を含むあらゆる面において、安全意識について考え実践することを目的に、毎月1日を「安全の日」と定め幟旗を掲揚することにより、安全意識を周知しました。

平成29年度の事故発生件数は、傷害事故6件（前年度4件）うち入院1件（前年度1件）、損害事故については9件（前年度7件）、派遣事故4件（前年度1件）また、昨年と比較すると発生件数は7件の増加となりました。

#### 6. 適正就業への取り組み

ワークシェアリングによる就業機会の公平化のため、適正就業委員会では会員の5年以上の継続就業状態の調査審議を実施しました。また、請負での就業になじまない就業形態の是正のため、労働者派遣事業及び有料職業紹介事業に

積極的に取り組みました。

## 7. 独自事業

会員の長年培ってきた知識・技能を活かし、就業機会の確保と会員と地域との交流を図るため、道の駅ソレーネやゆめタウン徳山での手芸部による作品販売や公民館などのイベントに参加出店しました。また、コンピュータ・クラブによる市民も対象にしたPCサロン等の独自事業を行いました。

## 8. 第3次中期基本計画の評価・検証

第3次中期基本計画（計画期間：平成28年度から平成32年度まで）の進捗状況の評価、検証のため、年度末の3月に第3次中期基本計画推進委員会を開催して、平成29年度の各計画推進項目の評価検証を実施、センター事業運営の推進に努めました。

## 9. 地域社会への貢献（ボランティア活動の実践）

シルバー人材センター事業は地域社会に密着した事業であり、高齢者の長年培ってきた技能と経験を地域に還元するボランティア活動として、地域ごとに公共施設・福祉施設やその周辺の清掃作業を実施しました。

また、剪定班では毎年恒例の、養護老人ホーム「きさんの里」のボランティア剪定作業を実施しました。

## 10. 労働者派遣事業の実施

当センターでは、請負事業としてなじまない業務は、受託事業から労働者派遣事業へと、適正就業ガイドラインに基づき切り替えを強力に推進した結果、新規の派遣契約の増加により、派遣事業契約額及び就業延人員のいずれも増加となりました。

## 11. 職業紹介事業

適正就業に資するため、受託事業から直接雇用への切り替えに際し、県シルバー連合会の下、県連合会の実施事務所として、有料職業紹介事業に取り組みました。